

湖東県立自然公園

湖東県立自然公園の概要

湖東県立自然公園は、琵琶湖の東岸に広がる湖東平野と鈴鹿山脈に挟まれた山地を中心に、1市5町にまたがる4,366haの広さをもつ、昭和62年5月15日に指定された本県で5番目の自然公園です。

この自然公園は、琵琶湖に注ぐ芹川・犬上川・宇曾川の源流にあたり、今も清い溪流美をとどめるなど自然景観がすぐれています。また、歴史を刻んだ文化景観が随所に見られ、静寂な自然環境の中で、古をしのばせてくれます。

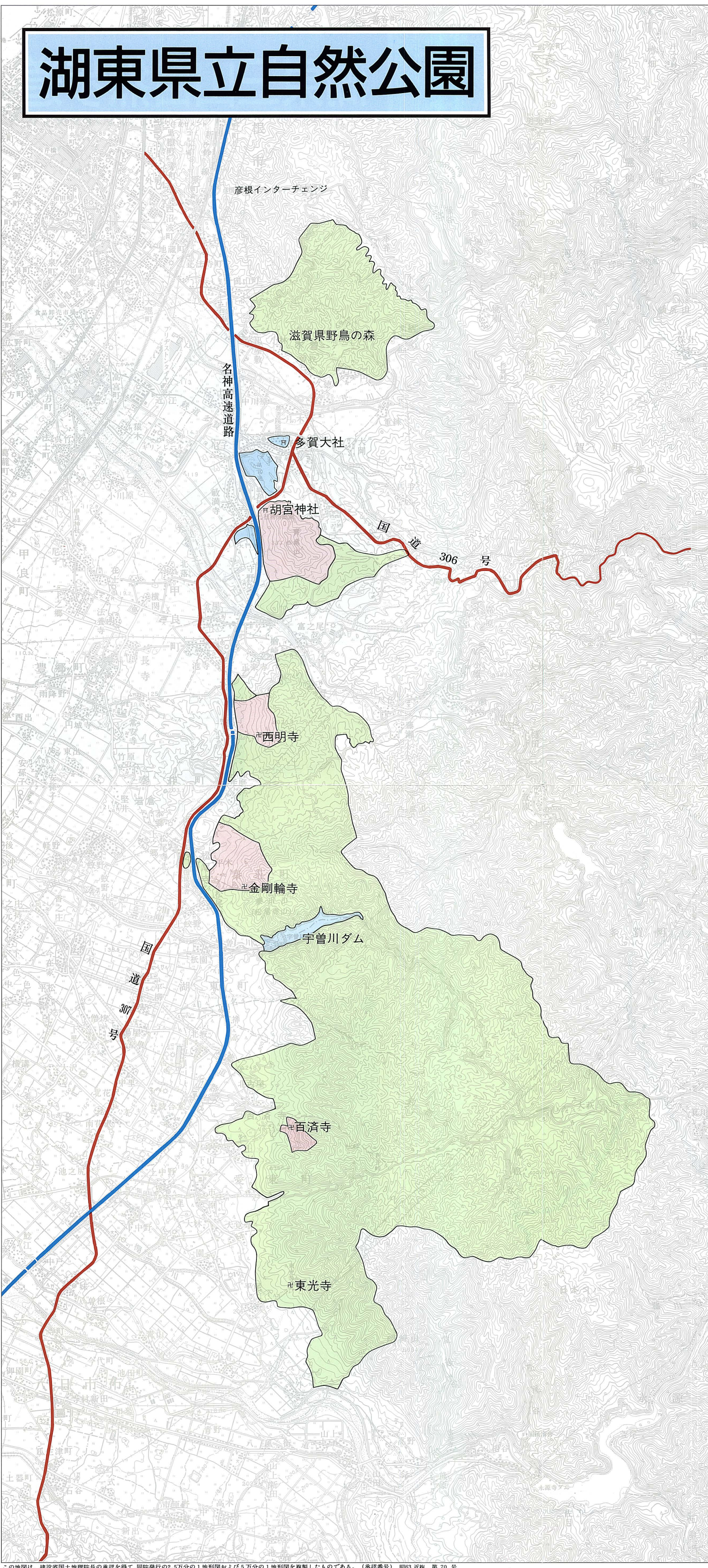
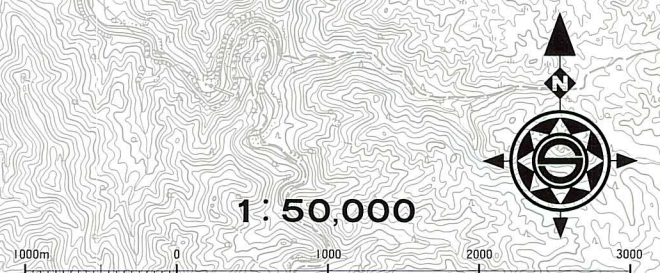
このように、緑豊かな自然景観と歴史の香りがする文化景観が、程よく溶け込んでいる身近な自然公園です。

湖東県立自然公園の 主なみどころ

滋賀県野鳥の森 (多賀町一円)	多賀町一円地先の山あいにある芹川ダム湖を中心に野鳥の森があり、野鳥観察や自然観察ができる野鳥探索路やビジターセンターなどの施設がある。
多賀大社 (多賀町多賀)	生い茂る鎮守の森を背後にして社殿・能舞台・絵馬殿などが建ちならび、大社としての風格を備えている神社である。
胡宮神社 (多賀町敏満寺)	青竜山の麓にあり、本殿は県指定の文化財であり、庭園は国指定の名勝になっている。
西明寺 (甲良町池寺)	平安初期に仁明天皇の勅願により三修上人が創建した古刹。国宝の本堂・三重塔等の文化的遺産が緑豊かな自然の中にある。庭園は国指定の名勝になっている。
金剛輪寺 (秦荘町松尾寺)	奈良時代に聖武天皇の勅願により行基菩薩が創建した古刹。国宝の本堂等の文化的遺産が秦川山の自然に包まれている。庭園は県指定の名勝になっている。
百済寺 (愛東町百済寺)	飛鳥時代に聖徳太子の御願により創建された古刹。歴史を刻んだ文化的遺産が緑豊かな周辺の自然と調和している。
宇曾川ダム (湖東町平柳・秦荘町松尾寺)	昭和55年3月に完成したロックフィル型の堤高56m、総貯水量290万tの治水ダムである。このダムからの眺望がよく、訪れる人も多い。
東光寺 (愛東町平尾)	白鹿背山の中腹に伽藍を安置する浄土宗の大きな寺院である。境内は、特定植物群落に選定されているアラカシなどが生育する静寂な自然環境である。



凡 例	
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	普通地域



この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図および5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号) 昭63 近規、第 70 号